

5月

1969年、文化大革命の中の中国。強制労働所送りになった男は、ある映画フィルムを手掛かりに、愛娘を探し出す。
 巨匠チャン・イーモウの、父娘の想いを描いた感動作!

『ワン・セカンド 永遠の24フレーム』
 103分/2020年/中国
 © Huanxi Media Group Limited



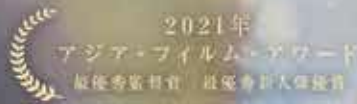
2024年 5月19日(日) 10:00 ~ 13:30 ~ ・ 20日(月) 10:00 ~ 13:30 ~

可児市文化創造センター ala 映像シアター

料金：全席指定 900円 25才以下 450円
 発売日：2024年3月16日(土) 9:00 ※電話予約は翌17日(日) 9:00

主催 公益財団法人可児市文化芸術振興財団、アラ映画祭実行委員会





子供の頃に観た映画の光景が
いつまでも忘れられない。
あの言い表せないほどの興奮と喜びは
まるで夢のようだった。

映画は、成長する私たちの傍にずっと寄り添ってくれた。
夢は、私の人生にずっと付き添ってくれた。
この作品を、映画を愛するすべての人に捧げたい—

監督 チャン・イーモウ

北京冬季五輪の開閉会式の総監督を務め話題を呼び、これまで3度米アカデミー賞にノミネートされ、多くの映画祭で華々しい受賞歴を誇るチャン・イーモウ監督の最新作は、躍動するアクションや血沸き肉躍るダイナミズムはない。しかし作品全体にあたたかく流れるのは、チャン監督の確かな「映画への愛」。監督が長年映画化を熱望していた企画である本作は、自身の名作『初恋のきた道』や『妻への家路』のようなエモーショナルな人間ドラマであり、全ての「映画」へのオマージュを感じさせる。『パラサイト 半地下の家族』を配給し話題となったNeonが北米の配給権を獲得、2021年トロント国際映画祭に正式出品されるなど、映画ファン必見の傑作が誕生した。



1秒でもいい、娘の姿をこの目で確かめたい。

圧倒的な映像美を背景に、娘への父の想いを描いた感動作—

文化大革命時代の中国を舞台に繰り広げられるノスタルジックで普遍的な物語と、広大な砂漠を大胆に映し出す圧倒的な映像美。フィルムの中にたった1秒だけ映し出されているという娘の姿を追い求める父親と、幼い弟との貧しい暮らしを懸命に生き抜こうとする孤独な少女。決して交わるはずのなかった2人が、激動の時代の中で運命的に出会い、そして彼らの人生は思いがけない方向へと進んでいく。娯楽の少なかった時代に映画に熱狂する人々。その姿は、コロナ禍の私たちに劇場で映画を観ることの素晴らしさを思い出させてくれるはずだ。



監督・脚本：チャン・イーモウ（中国）

出演：チャン・イーモウ（ベネチア国際映画祭）／リウ・ハオツン／フアン・ウェイ（北京国際映画祭）

2020年 | 中国 | 中国語 | 103分 | シネスコ | 原題：一秒 | 字幕翻訳：神楽明世 | 提供：ソニー・Hulu | 配給：ソニー © Huonki Media Group Limited

onesecond-movie.com

アジア作品も

hulu

話題の映画や
ドラマが続々登場



▼ チケット取り扱い

可児市文化創造センター ala・インフォメーション
Tel.0574-60-3050

9:00-19:00 火曜休館／祝日の場合は開館・翌平日休み



インターネット
予約対象



Webページ

▼ お問い合わせ

可児市文化創造センター **ala**

〒509-0203 岐阜県可児市下恵土3433-139
URL <https://www.kpac.or.jp> TEL.0574-60-3311
9:00-22:30 火曜休館／祝日の場合は開館・翌平日休み